平成28年4月21日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

JP250クラス技術仕様の規則追加と解釈について

2016年度 国内競技規則書　JP250クラス技術仕様の関する規則を下記のとおり規則の追加および規則解釈と致します。　この規則は、即日で施行されます。

JP250 クラスの技術仕様

1．フロントフォーク

該当規則： 7-3-3（p201）　　規則発行後の改定：青字部分の追加

7-3-3	フロントフォーク
7-3-3-1	フロントフォークのアウターチューブ、インナーチューブは公認車両時の状態に維持されなくてはならない。アウターチューブの表面塗装の変更は認められる。
7-3-3-2	フロントフォークの内部パーツは、バルブ形式（減衰力を発生させる基本構造）を変えない範囲で、改造または変更することができる。減衰力に影響を与える公認車両に無い装備およびパーツの追加は許可されない。 ただし、アジャスターの追加はプリロードのみ許可され、ダンパー類のアジャスターの追加は認められない。 **また、オイルロックピースは改造が認められるが、変更および取り外しは許可されない。**

2．特例処置

該当規則：7-1　レースのために取り外さなければならない部品　（P198）

7-1-5　同乗者用フットレスト/ブラブレール

同乗者用フットレストステーがフレームに溶接されている以下のモデルは、フレームに溶接された部分のみ切削を認める。（写真内の白線部分）

対象機種	Ninja250SL（2015 年モデル）

3．エアクリーナーに関する解釈

該当規則　7-3-27　エアクリーナー　（p208）

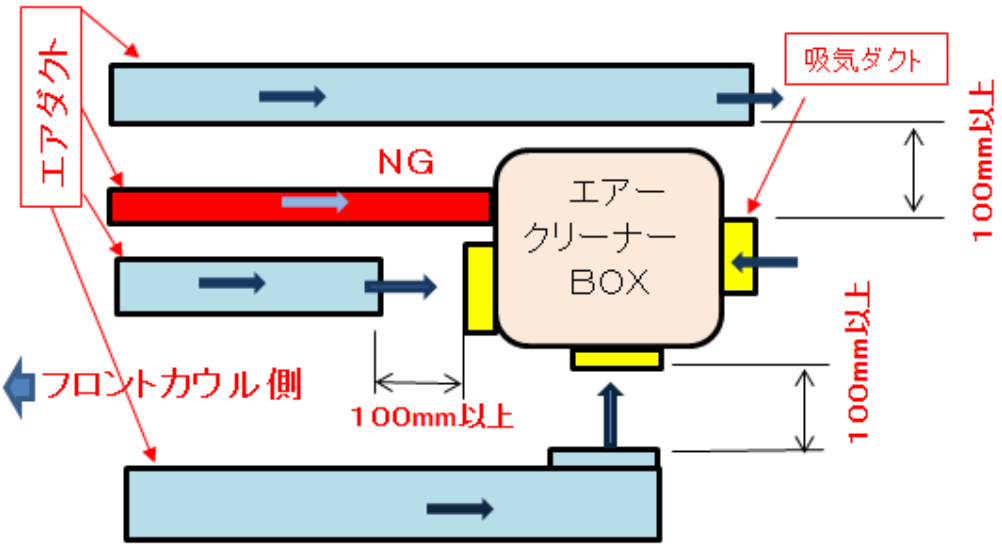
1）　ラム圧の解釈について

ラムダクトのない車両のエアクリーナーボックスへ空気の取り入れに伴う、ラム圧の判定基準は以下の通りとする。

ＪＰ250 クラスのラム圧判定の定義

① 前方からエアクリーナーボックス吸入口に直接接続されたエアダクトはダクトの太さにかかわらず、ラム圧と判定される。

② エアクリーナーボックス吸入口とエアダクトのエア吹き出し口の距離は最近位置で最低１００ｍｍ以上の隙間を設けなければならない。



2）CBR250R、CBR300R のエアクリーナーエレメントの解釈

該当車両のエアクリーナーエレメントホルダーは、改造が許可される。ただし、変更および取り外しは認められない。

4．フュエルインジェクション

該当規則：JP250　7-3-18（p206）

規則発行後の改定：二重線削除　青字部分の追加　　語句の訂正

7-3-18-2　エアファンネルの変更　~~交換~~は認められないが、公認車両に装備されたクローズドブリーザーシステムを維持した範囲でエアファンネルの改造が認められる。